

号外

1969年(昭和44年)

11月28日(金曜日)

昭和43年7月13日  
第三種郵便物認可  
昭和43年4月23日国鉄東局  
特別取扱承認新聞紙 第525号

# 祖国と学問のために

編集発行人  
全学連中央執行委員会  
東京都千代田区三崎町3の6の8  
原島第一ビル  
電話(264)8611(代)  
編集局専用(264)8613  
郵便番号101 振替東京29551  
発行人 船尾康成

臨時定価 2円

## 「沖縄返還」の名のもとに、日本を 朝鮮、中国、ベトナムへの侵略に まきこむ日米共同声明を糾弾する

一九六九年十一月二十二日

全学連中央執行委員会

一、佐藤・ニクソン会談において、「日米新時代」のなりもの入りで日米共同声明が発表された。佐藤首相は、共同声明発表後の記者会見において「沖縄の核ぬき・本土なみ・七十二年返還の世紀の大事業を実現した」と大みえをきった。しかし、沖縄県民をはじめとする広範な日本国民の反対を押しきって強行された今回の日米首脳会談と共同声明は、日本をアメリカのアジア侵略政策の一層深き

軍の行動にひきつづき使用することを認めている。しかも、「本土と沖縄をいかなる意味でも区別しない」という佐藤首相の言葉は日本本土の米軍基地がこれらの地域への直接の出撃基地として使用されることを意味している。これはまた、本土への核もちこみとあいまって、実質的な安保条約の改悪である。

この会議では、松本善明日本共産党国會議員が「総選挙と日米共同声明」にふれてあいさつし、川端治氏が「当面する情勢と七〇年闘争の展望」と題して講演しました。また、全学連の田熊委員長も激励のあいさつを述べました。そして二十二日、早大で早稲田大学第一法学部学友会、教育学部自治会、全学連連絡会議の主催による「日米共同声明糾弾集会」が開かれ、参加者は集会後構内を力強くデモ行進しました。

## 安保条約の 実質的改悪に怒り

## 全国一斉に抗議の 宣伝集会



二十日夜、全学連は日米共同声明を糾弾し、東京・京都・愛知・大阪・宮城など一斉に街頭宣伝を行った。(写真は、東京都民に訴える東大教養部の学生)

日本政府は、二十一日の日米首脳会談でとりかわした共同声明を沖縄の「核ぬき、本土なみ、七十二年返還」などと宣伝しています。が、商業新聞ですら、「日本側は日米安保条約の適用についての原則を書きかえたような事態になった、というのが米側の受取り方である」(朝日二十一日)と述べ

ているように、米側は、日米共同声明によって安保条約が実質的に変わったと見ています。全学連中央執行委員会は、こうしたきまめな日米共同声明を糾弾して二十二日、右のような声明を発表しました。

東京、札幌、名古屋、京都、大阪、福岡などでききつぎと糾弾声明が寄せられ、学内、街頭、駅頭

の宣伝、集会がくりひろげられています。東京都学連は、日米首脳会談が行なわれて二十日、いち早く全学連連絡会議を開き、約四百名の参加で、都学連平兼委員長の報告にもとづいて熱心に討論し、日米会談糾弾、総選挙での民主勢力の躍進、大学民主化などの諸闘争に大きく決起しようとする決意を固めました。

早大社会科学部を  
民主化  
東大看学、全学連に加盟  
静大人文、九大農につづき

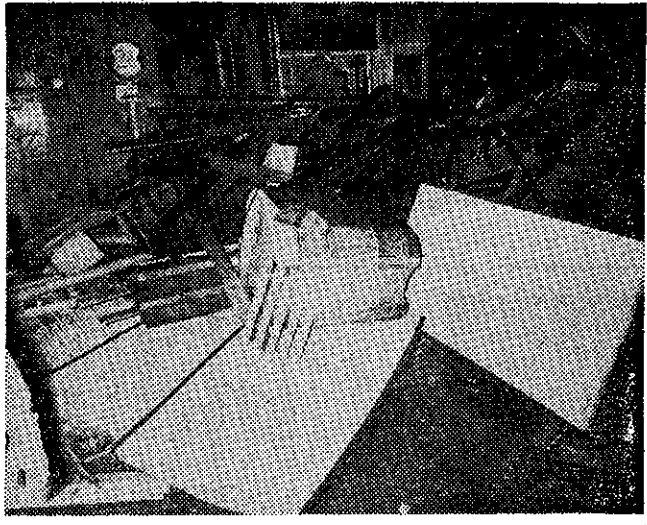
早稲田大学社会科学部では、十一月十八日、学生大会が自主開催され、「革マル」の「執行部」を絶対多数でひき出し、新たに二十五名の臨時執行部を選出し、自治会を民主化しました。「革マル」派三十名が大会を襲撃しましたが、参加者に撃退されました。これで、今年九月以降民主化された自治会数は、二十七に達したことになります。

また、同期間中に、静大人文、九大農、東大看学の三自治会が全学連加盟を決定しました。この結果、全学連加盟自治会は全国で九十八大学二百三十三となりました。

# 市民、通行人に火炎ビン

## 全共闘家具、風呂桶でバリケード

十六日午後四時すぎ、東京大田区南の国道沿いの商店街にけがれ、ヘルメット、警用銃の「全共闘」が、



大連を突進し、あたりがまわりました。火炎ビンを投げつけ、一面火の海。たまたま商店街は煙につつまれました。機動隊から放水銃が撃ち込まれました。

このとき、広場へ女性一人が火炎ビンに近づき、悲鳴をあげました。助言を求め、うすくまると逃げました。

千二六六。被爆者は、職員のため山から上った様子を新聞紙に描き、百数十人が「全共闘」に加入し、

伊藤さんは全身打撲で重体、腕の腫れがあります。また妹さんも全治一ヶ月、頭から出血で洋服が血まみれになっていました。

「封鎖」行動に参加した「全共闘」一派を処分

農工大捜査

この総会で、寮の代議者は「寮費を血の海にするぞ」と叫び、警員がけがれを強制的に強行しようとする「全共闘」とは寮生活をもとにできない「寮費、破産行為で学問、思想の自由を奪い、寮生の要求実現を妨害して

# 警察・公安当局と連絡

## 四機に連絡とること...

法政大学は、去る十月八日朝の本院、理事室に落ちついた電話

「全共闘」の神田副団での暴力事件に絡んで、管内強行捜査がはじまりました。しかし、そのとき「全共闘」はあつちのついでに、

「全共闘」はあつちのついでに、法政の理事長の室に三度目、三度目の電話、とはいわれないまでも、まことに手帳に記されたこと、

「全共闘」はあつちのついでに、山田さんと連絡とること、カサハレ、

# 破壊書の終着点

「略奪は破壊だ」(法政大)

「破壊こそ我々の創造だ」(阪大)

「破壊こそ我々の創造だ」(阪大)

「破壊こそ我々の創造だ」(阪大)

# 暴力・テロ・エロの日常性に埋没

「全共闘」はあつちのついでに、

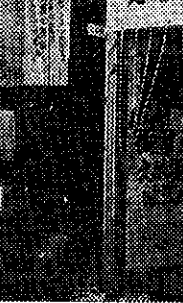
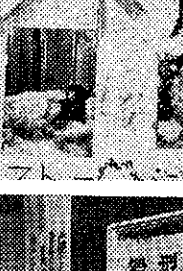
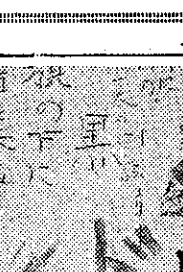
「全共闘」はあつちのついでに、

「全共闘」はあつちのついでに、

「全共闘」はあつちのついでに、

# 反社会的集団「全共闘」派を糾弾・解体しよう

「全共闘」一派、反戦青年会、10月20日、民主勢力の



「全共闘」の活動、民主運動は、

「全共闘」の活動、民主運動は、

# 全学連中央機関紙

## 祖国と学問のために

を讀みましよう

週刊毎週水曜日発行

80円

# 全学連9号

## 全学連回大会報告集

定価 300円

全日本学生自治会総連合

450円

# 勝利へのスクラム

四八〇円

文庫集II

450円

480円

# 全学連中央機関紙

## 祖国と学問のために

を讀みましよう

週刊毎週水曜日発行

80円

# 全学連9号

## 全学連回大会報告集

定価 300円

全日本学生自治会総連合

450円

# 勝利へのスクラム

四八〇円

文庫集II

450円

480円

# 全学連中央機関紙

## 祖国と学問のために

を讀みましよう

週刊毎週水曜日発行

80円

# 全学連9号

## 全学連回大会報告集

定価 300円

全日本学生自治会総連合

450円